

## WRO2008横浜大会(国際大会)

今月1日と2日、横浜市にあるパシフィコ横浜にて、WRO(ワールド・ロボット・オリンピック)が盛大に開催されました。勝山市からも、勝山南部中学校の「Team IKK」と勝山北部中学校の「ホクマイル」の2チームが出場、世界の強豪に交じって自立型ロボットで競い合いました。

会場となったパシフィコ横浜には、23か国地域の1万1000チームから選ばれた、19か国地域の189チーム、選手約5000人が集まりました。スターウォーズのテーマ曲で始まった開会式では、主催者側のあいさつのほか、各国のチーム紹介、地元高校和太鼓部による演奏、自転車に乗るロボットのパフォーマンスなどもありました。



開始直後、3人が分担して組み立てを始めたTeam IKK

開会式が終わると、150分間のロボット組み立てと試走、調整に入りました。各チームは黙々と作業を行い、早いチームは15分間程で試走を始めていました。勝山市から出場した2チームも3人で分担、協力しながら組み立てとプログラムの入力、試走、調整を繰り返していました。



プログラムの入力と組み立てに専念するホクマイル



第1コーナーを通過したばかりのTeam IKK

規定の大きさであるかの車検を受けて、いよいよ競技開始。「Team IKK」は第1コートに、「ホクマイル」は、第2コートに登場しました。



ホクマイルのスタート直後の様子

競技は同じコートで2回行われます。第1回目が終わると、30分間の試走と調整を繰り返して、第2回目が行われました。

競技の見どころは、プログラム通りにロボットが動いてくれるかどうか。コースの途中にある空き缶を落としたり、トンネルをくぐったりと、いくつもの障害を越えてゴールしなければなりません。

昼食時間も惜しんでがんばりましたが、結果は、残念ながら入賞に至るまでにはいきませんでした。

「ホクマイル」は全員が3年生で、「練習時間が足りなかったので、できれば高校でもやりたいです。今回はいい経験になりました」と感想を述べてくれました。

2チームとも世界の強豪に交じって本当によくがんばりました。



競技終了後に、2チームが仲良く記念撮影

## WRO2008福井エキシビジョン大会

3日には、県立恐竜博物館に会場を移し、WRO2008福井エキシビジョン大会が開催されました。横浜市での国際大会に出場したロシアや韓国など海外5か国の8チームも迎え、小中高の各部門合わせて30チームがロボット技術を披露しました。

大会は、ロボットの調整と試走の間やコースが少し違うほかは、国際大会とほぼ同様の要領で行われました。

大会には、勝山市から成器西小学校の「ロボットファイターズ西」、勝山南部中学校の「Team IKK」、勝山中部中学校の「チーム white」、勝山北部中学校の「ホクマイル」、勝山高等学校の「勝山A」の5チームが出場しました。結果は見事、中学生部門で「Team IKK」が優勝、「チーム white」が3位に入賞しました。



開会式の選手宣誓には、ロボットファイターズ西の3人が、元気に大役を務めました。



第1コーナーを曲がり、手前の缶に向かって進むチーム whiteのロボット

ロボットの動きをじっと見守るロボットファイターズ西



缶を全部倒し、トンネルをくぐり抜けたTeam IKK



ゲートを通過し、ピンポン玉を取りに行こうとする勝山A



手前の缶を倒しに向かうホクマイル

夕方からは、勝山ニューホテルでセブションが開催されました。会場には、海外チームを含むエキシビジョン大会出場者のほかに、8月の福井地区予選会に出場した市内小中学校のチームの選手やコーチ、先生、ご家族のかたがたも参加して、総勢200人以上となり、本当に賑やかなものとなりました。



乾杯!

地区予選会に出場した笠川恭佑さん(村岡小6年)は、「横浜の決勝大会に進められなかったことは残念。いい経験になったので、中学へ行ってもやってみたい。」と感想と抱負を語ってくれました。

約5か月間に渡った今年のWROはこれで終了となりますが、来年は今年以上のエントリーのもとで更なる飛躍を期待したいものです。